

3-4 意見・要望

問 15 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、2,940 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難生活の長期化への不安 元の生活が取り戻せるかどうかの不安 元の生活、安定した生活の回復 元の生活に戻ることについてのあきらめ 現在の生活の経済的な不安について 現在の生活の健康に関する不安について 現在の生活の仕事・学業に関する不安について その他現在の生活の不安について 将来の生活の経済的な不安について 将来の生活の健康に関する不安について 将来の生活の仕事・学業に関する不安について その他将来の生活の不安について 生活（再建）支援について その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> 除染作業の意義について 除染作業にかかる費用の他への活用について 除染作業の効果などについて 除染作業の実施箇所などについて 除染作業の早期・迅速・的確な実施について 除染作業スケジュール明確化について 中間貯蔵施設について その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰還困難区域への立入りについて 帰還困難区域等の設定について 所有する住まい・土地の買取りについて 自宅の現状（被害状況）について 自宅の再建・改築・解体について その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> 復旧・復興の遅れ、長期化について 復旧・復興スケジュールについて 復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について 町村合併について ライフライン・インフラの整備について 社会福祉施設の整備について 住民の参加・自助努力について 早期の原状回復・復興実現について その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> 賠償内容・方法について 賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュール明確化について その他所有する住まい・土地に対する賠償について その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃炉作業の迅速な実施について その他廃炉作業について その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰還への不安 帰還可能時期の明確化について 帰還したい 帰還しない 帰還に関する施策について 帰還を望まない人への対応について その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政や東電の対応について 対応の長期化、遅れについて 情報の開示・発信について 中長期的スケジュールについて その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> 復興公営住宅の早期・迅速な建設について 復興公営住宅の建設地・形態等について 復興公営住宅に係る経済的負担について 復興公営住宅入居が可能かどうかの不安 復興公営住宅への入居について 居住場所の確保について 借上げ住宅について その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後のエネルギー政策について 行政に対する謝意、励まし その他

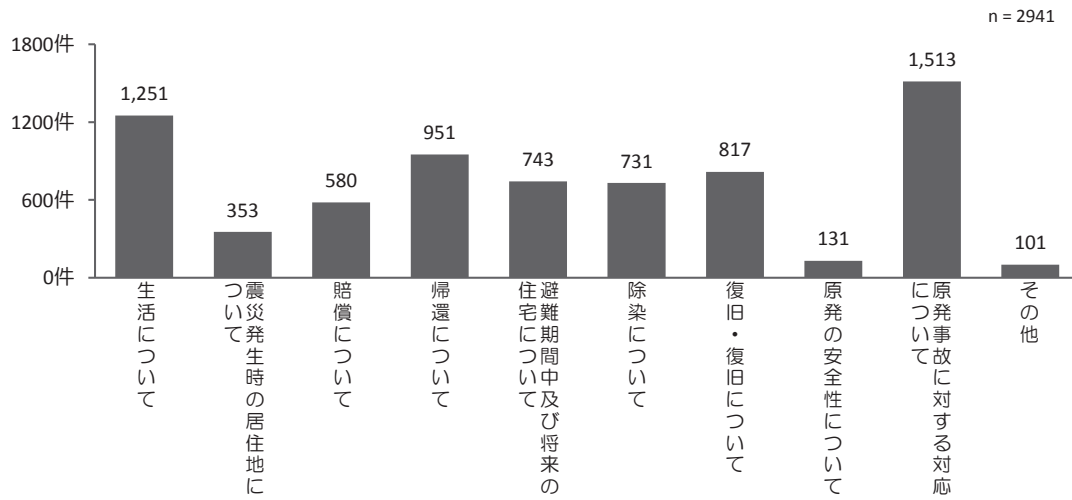
※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

まず、10の大項目についての、分類結果は下図のとおりとなった。

「原発事故に対する対応について」が1,513件と最も多く、次いで「生活について」が1,251件、「帰還について」が951件などとなっている。

<図表3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果>

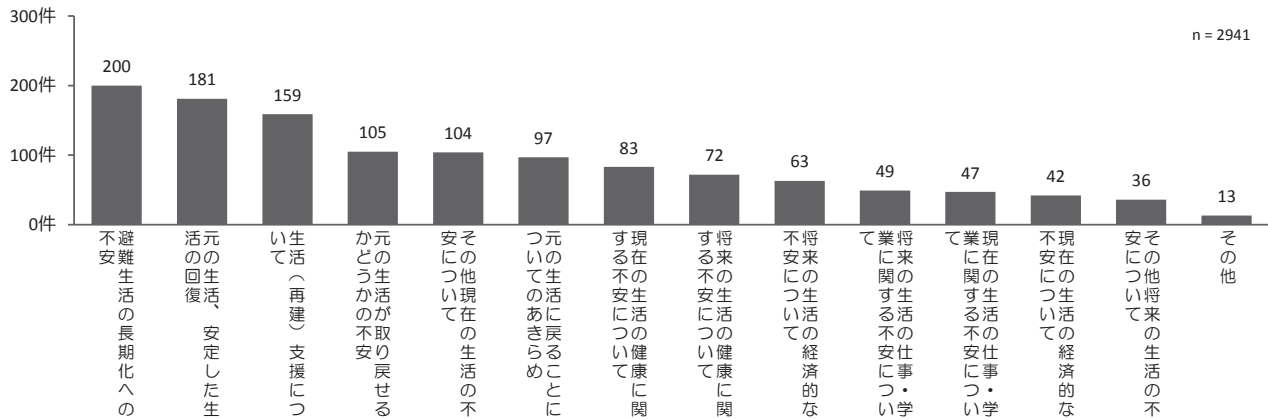


III 調査結果

(1) 生活について

生活についての具体的な意見としては、「避難生活の長期化への不安」が200件と最も多く、次いで「元の生活、安定した生活の回復」が181件、「生活（再建）支援について」が159件などとなっている。

＜図表3-4-2 生活についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【避難生活の長期化への不安】

- ・福島に戻りたくても最終的にどうなるのか先が見えず判断出来ずにいる。本当に住めるのは何年後になるのか、はっきりしてほしい。(40代)
- ・3年近く苦しい生活から落ち着かず、自分の生活が出来ず、なお、50年いた家もなくして、この歳で自分の行く先も居場所もなく、毎日何も手につかず、何をやる気にもなれず、心の癒しがありません。(70代以上)
- ・仮設住宅に2年という時がたち、先が見えない中で私達は忘れられている様に思う。先が見えない決まらないのはとても不安で、糸の切れた、凧の様です。(40代)
- ・私達はどこに行くのかまだ判断のできない状態です。このままここに留まるのでしょうか。ただ、留まるにしても資金がありません。(50代)

【元の生活、安定した生活の回復】

- ・浪江町に帰りたい。でも、もう帰れない。浪江に帰りたい。温かな人情あふれるあの人達に会いたい。(70代以上)
- ・以前、浪江町で住んでいた地域のつながり、交流、コミュニティなどを取り戻して下さい。そして安心して安全で浪江町に住める様にして下さい。(60代)
- ・これ以上私達を苦しめる事ない様、早く早くどうかしてくれと“お願い”するばかりです。落ち着いた生活がしたい。“1日でも早く”と願うばかりです。(50代)

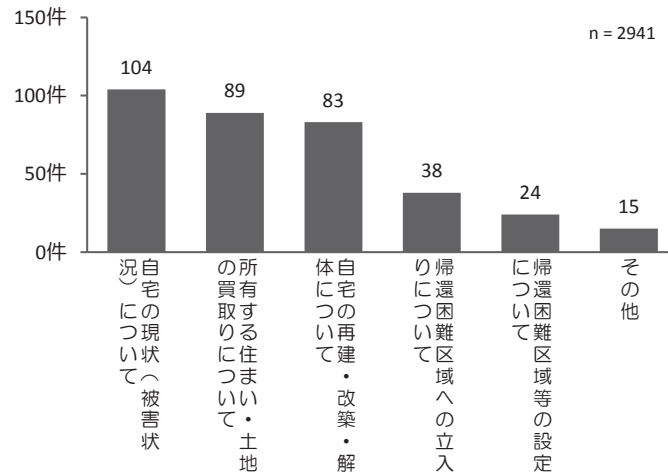
【生活（再建）支援について】

- ・実際戻って住むには、外の除染、家の中の掃除他に、賠償等増額してほしい。(60代)
- ・仕事もやめてしまい、ローンも組めません。家を買いたい無職の人のために、ローンを低金利で組めるような特別な制度があれば良いと思います。(40代)
- ・人間と同様、ペットに関しても…もっと支援して欲しい。ペットは物じゃなく、家族です。(40代)

(2) 震災発生前の居住地について

居住地についての具体的な意見としては、「自宅の現状（被害状況）について」が104件と最も多く、次いで「所有する住まい・土地の買取りについて」が89件、「自宅の再建・改築・解体について」が83件などとなっている。

＜図表3-4-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【自宅の現状（被害状況）について】

- 放射能がもれなかったら家も早く修理することが出来たのに…。雨もり・カビ・ねずみなどで家の中が住める状態ではない。これからどうしてよいかわからない。(40代)
- 修理すれば住める状況だったが2年半の月日は長く、雨もりがひどく解体をせざるを得ない状況になっている。(70代以上)
- 一時帰宅するたびに家の劣化にがっかりします。現状を見ても今後の3年後に帰っても住めるような状態にするまでは、とても大変な事と思います。家だけ除染しても生活していくには無理があると思います。(60代)
- 一時帰宅で、自宅に戻る度に、住めない状況に心が傾く。放射線量も高く、家屋内が地震で壊れ、物が散乱し、ネズミの糞だらけ。瓦が屋根から落ちて、周囲は雑草が伸び放題。除染しても果たして効果があるのか疑問に思ってしまう。(50代)

【所有する住まい・土地の買取りについて】

- 除染しても、どの位下がるかわからない。農地、山林は無理。浪江町はあきらめて全財産を国に買いとってもらって、そのお金で、住みたい所で、生活をした方が、まだ。(40代)
- 浪江町にある持ち家を国が買いとってくれば新しい道が開けると思う。浪江にある家のことを考えると、戻りたいと思うが生活していくのはムリ。浪江の家を買いとってくればあきらめがつく。新しい土地で生活をしていく気持ちがうまれると思う。土地を買って家を建てるぐらいの賠償はしてほしい。(40代)
- 浪江、大熊、富岡を国で買い取り、住民が住めないように管理し、避難者へも理解をもとめてほしい。もどれるのかもどれないのかうやむやのままよりも、ハッキリと分かった方が、皆も行動しやすいと思う。(20代)

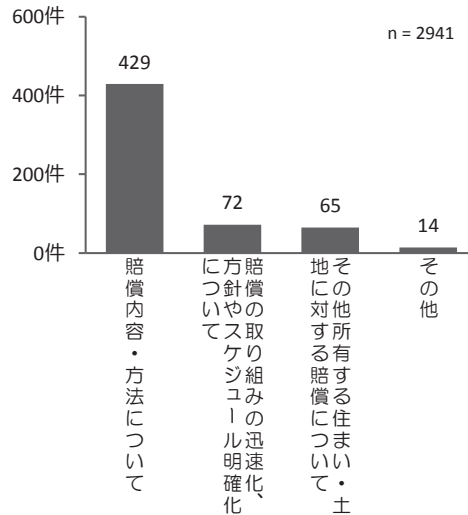
【自宅の再建・改築・解体について】

- 地震で壊れた家を自治体で解体してほしい。(無回答)
- 復興後、震災前と同じような状態にしてもらい、以前のように、1戸建に住みたい。(50代)
- 本当に戻れるのか不安。戻れるとしても住居の改修はどうすれば良いのか？(60代)

(3) 賠償について

賠償についての具体的な意見としては、「賠償内容・方法について」が429件と最も多く、次いで「賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュール明確化について」が72件、「その他所有する住まい・土地に対する賠償について」が65件などとなっている。

<図表3-4-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【賠償内容・方法について】

- ・ 不公平感のない賠償や、役場等への手続移動した際の費用等精神的賠償、生活費の増加分として、認められないことに納得できない。国の支援により、負担の少ない形で、土地購入、自宅再建《安価な土地購入への支援等》できるよう、避難前の生活同様の補償を望む。(50代)
- ・ 復興住宅では、これからも家賃や、色々な面での援助、補助があるでしょう。ローンの支払いもある一戸建てを購入する私達の場合は、何の援助もないという、全く不公平な国の賠償の考え方には納得出来ません。(60代)
- ・ 原発事故賠償が東電、国の主導で金額が設定されているのはおかしい。本来は被害者側が請求するものはず。現状の賠償額の少なさ、査定にかかる時間の短縮化はならないものか？(70代以上)

【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュール明確化について】

- ・ なるべく早く定住先が決まるように、賠償も含め、はっきりした結論を出してほしい。(60代)
- ・ 1日も早い復興、補償をお願い致します。(50代)
- ・ 復興公営住宅、除染、賠償、等の問題を早く解決してください。(60代)

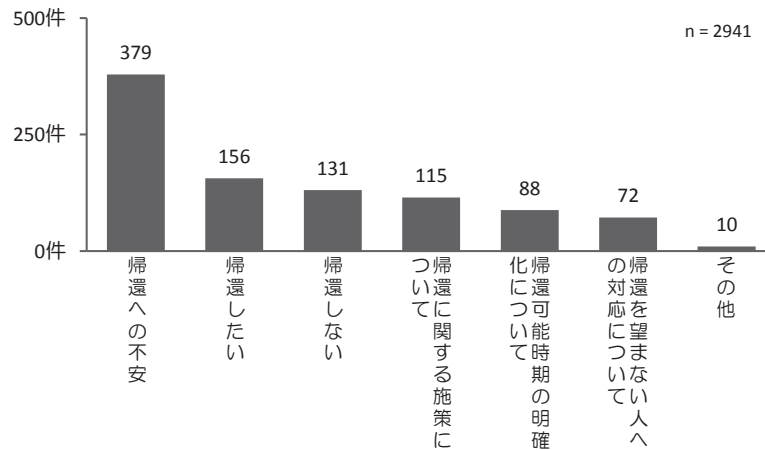
【その他所有する住まい・土地に対する賠償について】

- ・ 10年か20年後では定年を迎える為、早く現在の地に土地・住宅の補償として代替地を用意してほしい。(50代)
- ・ 浪江には、戻れないという気持ち強いけれども、リフォームしたばかりの家がもったいないので、まだ、迷っています。国で家を買って取ってもらえないものか？それが出来れば、新しく住める場所を1日も早く求めたい。(60代)
- ・ 戻りたくても戻れない方々も多く居ると思うので、現在の賠償だけではなく、移転補償も選択肢として、盛り込んで欲しい(生活再建の為に)。(50代)

(4) 帰還について

帰還についての具体的な意見としては、「帰還への不安」が379件と最も多く、次いで「帰還したい」が156件、「帰還しない」が131件などとなっている。

<図表3-4-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還への不安】

- ・ 浪江に帰って生活は出来るのですか？放射線は大丈夫なのですか？生活しても大丈夫ですか？子供達も生活出来るのですか？（40代）
- ・ 浪江町に戻る人がほんとうにいるのだろうか？将来的には戻りたい気持ちはありますが、現実的には無理だと思います。（60代）

【帰還したい】

- ・ 浪江町が好きです。元の環境に近い状態に戻ったならいつでも戻りたい。（20代）
- ・ 多少、時間がかかっても構わないので、必ず浪江町に帰らせてほしい。まだ50代前半なので、もう少しは待てる。インフラ等、設備を整えて、元の浪江町に戻して欲しい。（50代）
- ・ 自分が生まれ育った町への愛着は捨てられないし、何よりも、自分が生活した自宅があるから。そういう気持ち、心の根底にあるから、戻ろうと思った。少しずつでも、町は復興へと進んでいると信じているし、また、信じたいと思うから、待とうと思う。（50代）

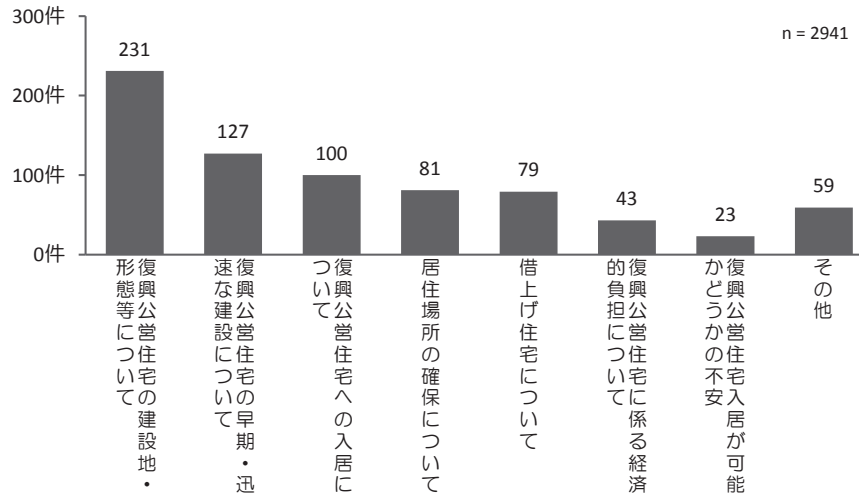
【帰還しない】

- ・ 今、避難先の町に、家を建築しようと計画中です。帰還困難区域という事で、先が見えない避難生活の中で、ようやく辿り着いた決断でした。浪江の家は、主人や、子供達が、生まれ育った家なので「帰らない」と言い切る事は、かわいそうと言えませんが、たださえ、築80年ちかの家が、このまま、避難解除になった時、前と変わらない状態で、住めるとも思えず。（40代）
- ・ 私たちは、もう浪江に戻ろうとは思っていません。残念ですが、月日があまりにも過ぎてしまいました。税金で除染をしなくてよいので、別の場所に永住できるコミュニティを早くつくって下さい。若い世代は、いくらでも自分たちで住まいの確保はできますが、高齢の方々は、本当に大きな問題です。（30代）
- ・ 家にネズミが侵入、妻が戻る事を諦めた。自分達に戻ったとしても、周りは草だらけの状態、誰が周囲の管理をするのか不安になった。今の状況を考えると、屋外での趣味は絶対に無理だと思う。娘や孫が来る事ができない様な町には住めないと思い、悩み抜いた末に戻らず、新天地に住む事に決心した。（50代）

(5) 避難期間中及び将来の住宅について

住宅についての具体的な意見としては、「復興公営住宅の建設地・形態等について」が231件と最も多く、次いで「復興公営住宅の早期・迅速な建設について」が127件、「復興公営住宅への入居について」が100件などとなっている。

＜図表3-4-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復興公営住宅の建設地・形態等について】

- ・復興公営住宅でも、ペットと一緒に暮らしたい。ペットがいる場合には、一階に住ませてほしいです（トイレが外になってしまいました）。宣しくお願い申し上げます。（60代）
- ・できれば今住んでいる仮設住宅の場所に復興住宅を考えていただきたいです。また違う場所に行ってしまうのは、ちょっと大変です。（60代）
- ・町内に点在している民家を1ヶ所に集わせ、老人が車いすでも生活できる環境をつくってもらいたい（商店街、金融、病院、役場等も含む）。（60代）

【復興公営住宅の早期・迅速な建設について】

- ・復興公営住宅の整備は、現時点では、いつになるかわからない。浪江町民の希望者が早く入居出来る事を願っております。（50代）
- ・子どもも日々成長しているので出来れば早く復興住宅を作っていただけるといいですね。押し入れも狭いし、狭いアパートでは限界です…。（30代）
- ・仮設は狭いので、夏、冬はとても辛いです。病院に通院するのも大変です。やはり公営住宅は、一日も早くお願いしたいです。（60代）

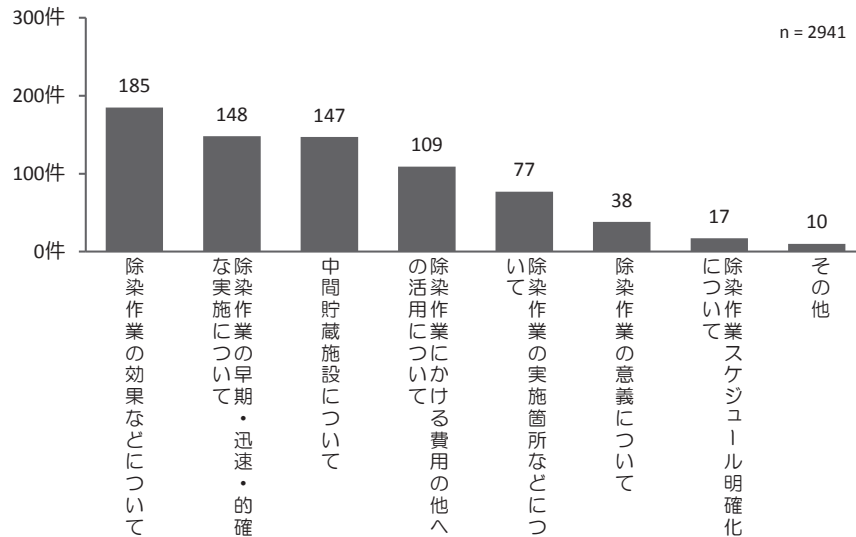
【復興公営住宅への入居について】

- ・復興公営住宅に入居したい。今の家賃を支払い続けるのは、大変です。（40代）
- ・1人暮らしで足が不自由。耳も不自由なので復興住宅では下の階であれば暮らしたい。（70代以上）
- ・復興公営住宅入居希望者全員が早期に入居し安定生活を始められる事を希望します。（50代）

(6) 除染について

除染についての具体的な意見としては、「除染作業の効果などについて」が 185 件と最も多く、次いで「除染作業の早期・迅速・的確な実施について」が 148 件、「中間貯蔵施設について」が 147 件などとなっている。

<図表3-4-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の効果などについて】

- ・すべて汚染しているのになぜ住民を帰したいのか。除染をしても無駄ではないのか、くり返し同じ事を毎年するのか。と思うと、戻って生活する事に対しても考えてしまう。不安だけが残る。(30代)
- ・家や建物の外を除染しても、家の中の物すべて汚染されています。そんな家に本当に帰れと言われるのでしょうか。(50代)
- ・町内の除染作業は無駄ではないでしょうか。現在でも東電からの汚染水もれ等で日々放射線もれがある町にいくらお金をかけて除染しても無駄です。(30代)

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- ・一日も早い除染を希望します。除染を実行していただき、自分の生まれ育った自宅へ戻りたいと考えております。(50代)
- ・とにかくそっくりそのまま、元の状態にもどしてほしい。海や川の底まで除染して完全に放射線がなくなってから帰ることにしてほしい。家も土地もそっくりそのままもとのように…。それだけが願いです！！(50代)
- ・1日でも早く帰りたいので上下水道の整備並びに医療機関を整えてもらいたい。除染を早急にお願いしたい。(70代以上)

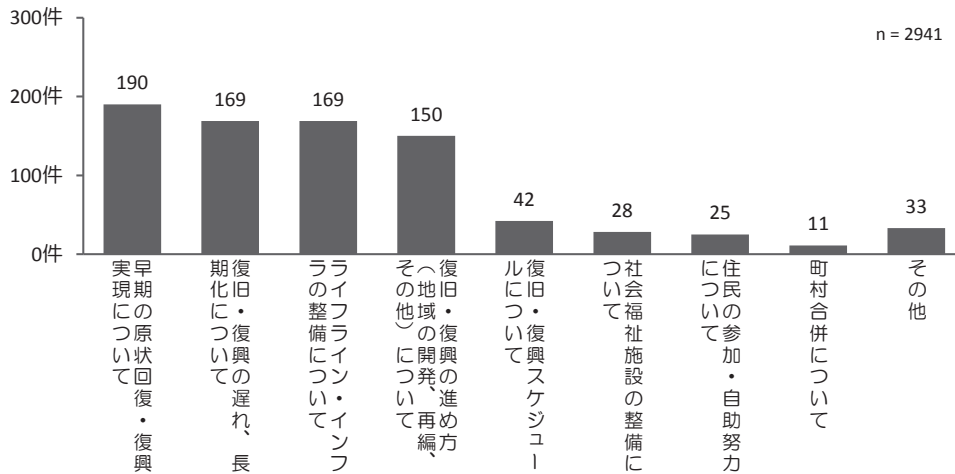
【中間貯蔵施設について】

- ・川から海への放射性物質の流入問題があっても、海を見ないでの生活は出来ないなので、何年待っても帰るし、帰りたい。そのためには近くに、中間貯蔵施設を作ってもらいたくない。(60代)
- ・中間貯蔵が双葉などに作られたら、汚染されたゴミ等を運ぶ車両が往来します。何が起きても不思議じゃない状況になると思います。私達を帰すことだけ考えないでほしい。帰りたい気持ちは人一倍あるけど、客観的にみれば、無理というのが多数派だと思います。(40代)
- ・中間貯蔵は受け入れる県が他にあるとは思えない。汚染された土地で受け入れるべきだと思う。(60代)

(7) 復旧・復興について

復旧・復興についての具体的な意見としては、「早期の原状回復・復興実現について」が190件と最も多く、次いで「復旧・復興の遅れ、長期化について」、「ライフライン・インフラの整備について」が169件などとなっている。

<図表3-4-8 復旧・復興についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【早期の原状回復・復興実現について】

- ・復興はこれから何年かかるかわからないでしょうが、それに関わる人達には、頑張ってもらって、1日も早く、元にもどれるようにしてもらいたいと思っております。(50代)
- ・『復興に向けて、国、県、自治体は全力で取り組んで行くこと』を求めます。(60代)
- ・一日も早く元の浪江町に戻れる様国と自治体には早急に復興に向けて対処してほしいです。(50代)

【復旧・復興の遅れ、長期化について】

- ・2年半近くも町の除染も進まず、町内の個々の住宅、道路の荒れはたて姿を一時帰宅のおりに目にすると我が古里はもう元の姿にはもどらないと帰宅の回数が重なる程に思いが強くなっております。(70代以上)
- ・浪江町にはまだ何年も戻れないので、この歳では戻れるかどうか……。復興が遅すぎます。残念です。(70代以上)

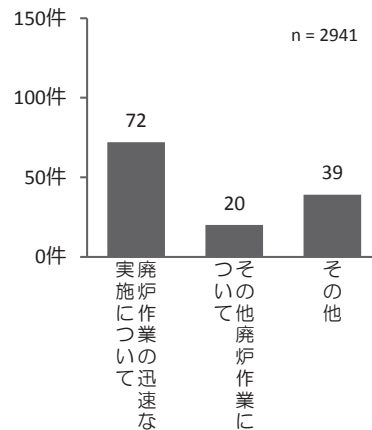
【ライフライン・インフラの整備について】

- ・町内のライフラインの整備を早急をお願いしたい。特に上水道、下水道の整備を！！家の中の整理をするにしても、掃除するにしても、水が無くては何もできません。ただ朽ち果てて行くのを見ているだけでは悲しすぎます。(60代)
- ・鉄道、国道、高速は、早く全面開通にして欲しい。特に鉄道はJR東日本まかせではなく、国が補助して早期復旧を手伝って欲しい。電車はつながってこそ便利なので。(40代)
- ・ライフライン。特に上下水道の復旧計画が、帰還へのすべて。どの程度の被害があり、復旧にどの程度の期間がかかるのか、そして、問題点は一体何か。町民に提示してほしい。(50代)

(8) 原発の安全性について

原発の安全性についての具体的な意見としては、「廃炉作業の迅速な実施について」が 72 件、「その他廃炉作業について」が 20 件となっている。

<図表 3-4-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業の迅速な実施について】

- ・ 原子力発電所内に燃料があるかぎり、安心、安全とは言えないのでは？いつも不安は消えないと思う。国、県、自治体が復興・復旧に金をつぎ込んでも、安心して元通りに生活出来ると思えない。(60代)
- ・ とにかく早く第一原発を治めて下さい。(60代)
- ・ 東電だけに任せずもっと国が積極的(主導権を握って)にかかわって早く事故を収束させて欲しい。(40代)

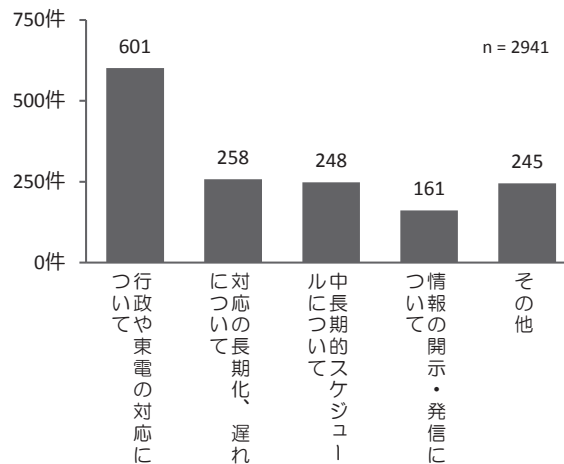
【その他廃炉作業について】

- ・ 本当に廃炉出来ますか？廃炉が出来なければ帰ってもいずれ追い出されるので、帰っても仕方がないのではないか。(70代以上)
- ・ 原発施設の廃炉を始めとする作業について、東電任せにするのではなく、国が主導となって、今後進めてほしい。(40代)
- ・ 原発を廃炉にしてからの復興だと思う。(50代)

(9) 原発事故に対する対応について

原発事故に対する対応についての具体的な意見としては、「行政や東電の対応について」が601件と最も多く、次いで「対応の長期化、遅れについて」が258件、「中長期的スケジュールについて」が248件となっている。

＜図表3-4-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- ・最近東京電力で汚染水の問題がニュースで取り上げられている。国、県、東京電力にいままで以上に不信感が増している。もう、東京電力は信用できない。国、県は何をしているのか。環境調査、汚染状態、除染状態、不明確でよくわからない。(60代)
- ・国、東電が無責任なのは、良く分かったし、何もしてくれないので、当てにしないから早く自立できるように賠償して下さい。政治家もまったく信用出来ない。(40代)
- ・なにを書いても言っても無駄だと、この二年以上の生活で悟りました。国も県も町も東電もなにもししてくれない。(60代)
- ・補償センターに電話しても、委託の方が電話に出て、「ちょっとお待ち下さい」とばかりで、話にならない。(30代)
- ・はっきり言って国、県、町には期待できません。国に訴えても国民の声なんて届かないのだと諦めています。(60代)
- ・原子力発電所の事故後、収束どころか、不安になることばかり続いています。避難生活がいつまで続くのかと思うと眠れない毎が続きます。東京電力まかせではなく、もっともっと国で力を入れなんとかならないものかと思えます。(70代以上)

【対応の長期化、遅れについて】

- ・とにかく遅い。国・自治体をもっと強制力を持って決定できるシステムをつくって仮置場・中間貯蔵・最終処分場まで決定し、原発事故の収束を早めるべき。(60代)
- ・アンケートや復興計画の会議ばかりで先が見えない。これだけ遅れていくと、帰りたいたいと思っている人も帰らなくなる。帰ることができない。または復興できないのであれば、早く結論をだしたほうがよい。(60代)
- ・対応や復興に時間がかかりすぎる。国や東電は今後の事をいつまでも延ばし延ばしせず、一日も早く、住宅の確保や最終賠償をして、避難している人達を自立させないと若い人など、だめになってしまうと思います。(50代)

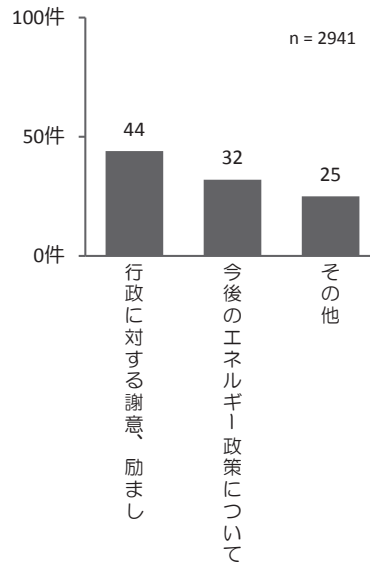
【中長期的スケジュールについて】

- ・ 自宅に住める状態ではありません。今後、何年後かは分かりませんが住むとすれば建替えをしなければならない。どうしたらよいか不安です。どうしたらよいか、方向性を指導してほしい。(60代)
- ・ 津波にあった地域の人を町はどうしたいのか早くきめて下さい。津波で亡くなった人の遺骨をいつになったらどのようにできるのかを早急に連絡下さい。(40代)
- ・ 国は震災から、2年5ヶ月もたっているのに、ぜんぜん前には進んでいないように感じます。スピード感を持って一日も早く復興してほしいです。ハッキリとした決断を望みます。(40代)
- ・ 帰還を判断するための情報は、“～かもしれない、～だろう。”というようなグレイな表現ではなく、具体的な情報提供をお願いしたい。スピード感をもった展開をお願いしたい。理屈よりも、具体的な行動・実施を希望いたします。(50代)

(10) その他

その他についての具体的な意見としては、「行政に対する謝意、励まし」が 44 件、「今後のエネルギー政策について」が 32 件となっている。

＜図表3-4-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- ・ 町長さん始め、町の行政に携っておられ、ご苦勞なさっておられる方々には、心から感謝申し上げます。(60代)
- ・ 事故後の原発で働いている方や他県から来てくれている警察官の方、自衛隊の方ボランティアの方、地元で頑張ってくれている方々には感謝の気持ちでいっぱいです。(30代)
- ・ 多くの町民の要望、気持等を整理、進めて行く事は大変な事と思います。それが仕事とは言え、誠にありがとうございます。(60代)

【今後のエネルギー政策について】

- ・ 将来に向けてのエネルギー政策を早急に確立して頂きたい。(70代以上)
- ・ 国には原子力を使ったエネルギー活用やめてほしい。(20代)
- ・ 最終処分も出来ない原発はやめて、今回の事故をきっかけに、エネルギーの転換をすべきであると思う。国の責任で、次の世代に、負の遺産をおしつけるべきではない。(40代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

浪江町住民意向調査

～今後の住宅・町外コミュニティのご希望などについて～

この調査について

●調査対象者：各世帯代表の方

※現在世帯が何か所かに分かれて避難されている場合は、それぞれの場所にお住まいの代表者の方

●実施主体：復興庁・福島県・浪江町

●提出期限：8月23日（金）まで

記入済の調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。
（切手は不要です）

●ご回答について

記名式でお願いしています。

最初のページに「住所」、「氏名」、「連絡先(電話番号)」の記入をお願いします。

ご回答にあたっては

- ・ 当てはまる番号を選び、その番号に ○ を記入。
- ・ その他に ○ をされた場合は、() 内に具体的な内容を記入。
- ・ 内には具体的な内容（地名、数など）を記入。

※この回答により、

- ・ 復興公営住宅への入居の確約となるものではありません。
- ・ 町内に戻ることを求めるものではありません。

ので、現在のお考えをご記入ください。

【お問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

フリーダイヤル 0120-955-961

設置期間：8月12日（月）～8月30日（金）
平日 午前10時～午後5時（土・日・祝を除く）

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

本調査は、今後の復興公営住宅整備に向けて、住民のみなさまのご意見や要望などをおうかがいすることを目的として実施しております。今後、改めて、復興公営住宅について、詳しくご意向をお聞きする場合がありますので、現在のご住所とご連絡先のご記入をお願いいたします。

なお、当該欄にご記入いただくことによって、復興公営住宅への入居申し込みや入居の確約となるわけではありません。

《個人情報の取り扱いについて》

- ・ 調査票に記載いただいた個人情報は、浪江町、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・ また、回答はすべて統計的な処理を行い、個別内容が公表されることはありません。

F1 現在のあなたの住所(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

F2 あなたの氏名

F3 あなたの連絡先(電話番号)

【すべての方にうかがいます。】

問1 あなたの現在の年齢(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 8. 50~54歳 |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳 |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上 |

【すべての方にうかがいます。】

問2 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済) | 7. パート・アルバイト |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中) | 8. 学生 ⇒問3へ |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) ⇒問3へ |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) ⇒問3へ |
| 5. 団体職員 | 11. その他 (具体的に |
| 6. 公務員 |) |

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 (具体的に |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 |) |

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 就業先の所在自治体

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

東日本大震災発生当時の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を、以下から教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|
| 1. 1区 | 13. 樋渡・牛渡 | 25. 畑川 | 37. 荻宿 |
| 2. 2区 | 14. 高瀬 | 26. 井手 | 38. 加倉 |
| 3. 3区 | 15. 幾世橋 | 27. 田尻 | 39. 酒田 |
| 4. 4区 | 16. 幾世橋北 | 28. 末ノ森 | 40. 西台 |
| 5. 5区 | 17. 幾世橋南 | 29. 大堀 | 41. 藤橋 |
| 6. 6区 | 18. 北棚塩 | 30. 小野田 | 42. 羽附 |
| 7. 7区 | 19. 南棚塩 | 31. 谷津田 | 43. 津島 |
| 8. 8区 | 20. 請戸北 | 32. 酒井 | 44. 下津島 |
| 9. 佐屋前 | 21. 請戸南 | 33. 室原 | 45. 南津島上 |
| 10. 川添北 | 22. 中浜 | 34. 立野上 | 46. 南津島下 |
| 11. 川添南 | 23. 両竹 | 35. 立野中 | 47. 赤宇木 |
| 12. 上ノ原 | 24. 小丸 | 36. 立野下 | 48. 手七郎 |
| | | | 49. 大昼 |

【すべての方にうかがいます。】

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 当時世帯主だった | 2. 当時世帯主ではなかった |
|-------------|----------------|

【すべての方にうかがいます。】

問5 震災発生当時の、あなたの職業を教えてください。

当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源になっていた職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 7. 学生 ⇒問6へ |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 8. 無職(職を探していなかった) ⇒問6へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していた) ⇒問6へ |
| 4. 団体職員 | 10. その他 (具体的に |
| 5. 公務員 |) |
| 6. パート・アルバイト | |

【仕事に就いていた方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 (具体的に |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 |) |

【仕事に就いていた方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 就業先の所在自治体

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

【すべての方にうかがいます。】

問 6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舍など) |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 8. 親戚・知人宅 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 9. その他〔具体的に |
| 5. 公営住宅 | 〕 |

▼【問 6 で「1. 持ち家 (一戸建)」「2. 持ち家 (集合住宅)」と回答した方にうかがいます。】

問 6-1 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる |
| 2. 修理すれば住める状況 |
| 3. 特に損傷はない ⇒問 7 へ |
| 4. 津波により、家が流出している ⇒問 7 へ |
| 5. わからない ⇒問 7 へ |

【問 6-1 で「1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」「2. 修理すれば住める状況」と回答した方にうかがいます。】

問 6-2 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような被害や劣化等がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 地震の影響と思われる大きな損壊等がある | 6. カビが多く発生している |
| 2. 津波被害を受けている | 7. 屋内の放射線量が高い |
| 3. 火災被害を受けている | 8. その他〔具体的に |
| 4. 動物等が侵入した跡があり荒れている | 〕 |
| 5. 雨漏りの形跡がみられる | |

避難状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 7 あなたが現在避難されている先の自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. 相馬市
2. 南相馬市
3. いわき市
4. 新地町

【 会 津 】

19. 喜多方市
20. 会津若松市
21. 猪苗代町

【 中 通 り 】

5. 福島市
6. 伊達市
7. 二本松市
8. 本宮市
9. 郡山市
10. 田村市
11. 須賀川市
12. 白河市
13. 桑折町
14. 川俣町
15. 三春町
16. 小野町
17. 西郷村
18. 大玉村

22. 福島県内のその他の市町村(具体的にご記入ください。)

→ (市・町・村)

23. 福島県外(具体的にご記入ください。)

→ (都・道・府・県) (市・町・村・区)

IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

問 8 現在と震災発生当時の世帯構成についてうかがいます。

(1) 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳(中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

(2) 震災発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳(中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

(3) 震災発生当時ご一緒にお住まいであったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(○は1つ)

1. 世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)	3. 合計3か所に分散
2. 合計2か所に分散	4. 合計4か所以上に分散

【すべての方にうかがいます。】

問 9 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 仮設住宅	6. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 借り上げ住宅	7. 親戚・知人宅
3. 公営住宅(有償)	8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)
4. 民間賃貸(有償)	9. その他(具体的に
5. 給与住宅(社宅など))

【すべての方にうかがいます。】

問 10 現在、自動車は何台保有していますか。(○は1つ)

なお、4台以上の場合は、具体的な台数についてもご記入ください。

1. 1台	4. 4台以上(台)
2. 2台	5. 保有していない
3. 3台	

【すべての方にうかがいます。】

問 11 現在、ペットを飼っていますか。(○はいくつでも)

1. 犬を飼っている	
2. 猫を飼っている	
3. 犬、猫以外のペットを飼っている(具体的に)
4. ペットは飼っていない	

ここからは、①避難期間中の住居②将来に関するご意向について、二段階でお聞きします。

まずは、避難期間中の住居についてお聞かせください。

ここからの設問は、同封の「浪江町からのお知らせ」、「復興公営住宅について（福島県資料）」をよくお読みになってからお答えください。

【すべての方にうかがいます。】

問 12 現在、福島県は同封資料のとおり、復興公営住宅の整備を予定しています。あなたのご家族は、復興公営住宅への入居を希望しますか。（○は1つ）

- 1. 入居を希望する ⇒問 12-2 へ
- 2. 現時点では判断できない ⇒問 12-1 へ
- 3. 入居を希望しない ⇒問 12-8 へ

【問 12 で「2. 現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-1 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 集合住宅に住むことに抵抗があるから | 4. 周辺にある施設や住環境がわからないから |
| 2. どの地域の復興公営住宅に入居できるかわからないから | 5. 近所にどういう人が住むかわからないから |
| 3. 復興公営住宅の家賃、間取り等が詳細に分からないから | 6. 自身の生活の見通しが立っていないから |
| | 7. その他（具体的に） |

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問 12 で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問 12-2 復興公営住宅に入居するに当たって、希望する地域と家族構成をお聞かせください。

<1世帯目>および次ページの<2世帯目>のそれぞれについてお答えください。

あなたのご家族が、1か所の復興公営住宅を希望する場合は、<2世帯目>は(3)で「23」を選び、問 12-4 へ進んでください。

<1世帯目>

(1)最も希望する自治体を教えてください。（○は1つ）

<p>【 浜 通 り 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 相馬市 2. 南相馬市 3. いわき市 4. 広野町 5. 檜葉町 6. 川内村 	<p>【 中 通 り 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7. 福島市 8. 二本松市 9. 本宮市 10. 郡山市 11. 須賀川市 12. 田村市 	<ul style="list-style-type: none"> 13. 白河市 14. 桑折町 15. 川俣町 16. 三春町 17. 小野町 18. 鏡石町 19. 大玉村 	<p>【 会 津 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 20. 喜多方市 21. 会津若松市 <hr/> <p>22. その他 （具体的に）</p>
---	--	---	--

(2)家族構成をご記入ください。（人数で回答）※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

ア) 未就学児 (小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳 (中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

IV 参考資料

<2世帯目>分散して入居を希望しない場合は、(3)で「23」を選び、問 12-4 へ進んでください。

(3)最も希望する自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. 相馬市</p> <p>2. 南相馬市</p> <p>3. いわき市</p> <p>4. 広野町</p> <p>5. 檜葉町</p> <p>6. 川内村</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>7. 福島市</p> <p>8. 二本松市</p> <p>9. 本宮市</p> <p>10. 郡山市</p> <p>11. 須賀川市</p> <p>12. 田村市</p> <p>13. 白河市</p> <p>14. 桑折町</p> <p>15. 川俣町</p> <p>16. 三春町</p> <p>17. 小野町</p> <p>18. 鏡石町</p> <p>19. 大玉村</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>20. 喜多方市</p> <p>21. 会津若松市</p> <hr/> <p>22. その他 （具体的に）</p> <p>23. 分散は希望していない</p>
--	--	---

(4)家族構成をご記入ください。(人数で回答)※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)高校生	人
イ)小学生	人	オ)15～64歳(中学・高校生を除く)	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【分散して復興公営住宅へ入居を希望する方(問 12-2(3)で「1」から「22」に回答した方)にうかがいます。】

問 12-3 復興公営住宅へ2戸以上に分かれて入居する場合、現在ご一緒にお住まいの家族との生活について、どのような形を希望しますか。(○はいくつでも)

1. 隣接する別の住宅で生活	3. 隣接、近接しない別の住宅で生活
2. 同じ敷地内の別の住宅又は近くの住宅で生活	4. その他(具体的に)

【現在分散して避難されている方(問 8(3)で「2」から「4」と回答した方)にうかがいます。】

問 12-4 復興公営住宅に入居する場合、分散して避難している家族との同居について、どのような形を希望しますか。(○はいくつでも)

1. 同じ住宅での生活	4. 隣接、近接しない別の住宅で生活
2. 隣接する別の住宅で生活	5. その他(具体的に)
3. 同じ敷地内の別の住宅又は近くの住宅で生活	6. 分散して避難している家族は、復興公営住宅への入居を希望しない

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問12-5 あなたが希望する自治体としてご回答になられた理由はどのような理由ですか。

ご家族が分散して入居を希望する場合には、それぞれ番号をお選びください。

（世帯ごとに、○はいくつでも）

	1世帯目	2世帯目
放射線量や原子力被害の危険性が少ない(ない)から	1	1
気候や風土が良いから	2	2
浪江町に近いから	3	3
現在の避難先に近いから	4	4
人間関係やコミュニティ活動を大切にしたいから	5	5
地域の方が多く住んでいるから	6	6
分かれて住んでいる家族が近くにいるから	7	7
電車やバスなど公共交通機関が整っているから	8	8
医療機関(病院・診療所)が整っているから	9	9
介護・福祉サービスが整っているから	10	10
学校など教育施設が整っているから	11	11
子どもに適した教育(保育)環境があるから	12	12
商店やスーパーなど生活に必要な商業施設が整っているから	13	13
働く場所や機会が多いから	14	14
自分の事業用地や事業に適しているから	15	15
従業員を雇用しやすいから	16	16
その他(具体的に)	17	17

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

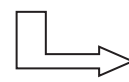
問12-6 復興公営住宅に入居する場合に、その住宅に近接する施設、機能として必要だと思うものは何ですか。（○は3つまで）

1. 医療施設	6. 役所(役場)出張所
2. 介護・福祉施設	7. 公園・広場
3. 学校	8. 貸し農園、家庭菜園
4. 保育施設	9. その他 (具体的に)
5. 商店	

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問12-7 復興公営住宅に入居する場合に、サービスとして必要だと思うものは何ですか。（○は3つまで）

1. 避難住民同士の交流会等の開催	5. 健康相談員の設置
2. 地元住民との交流会等の開催	6. その他 (具体的に)
3. 高齢者向けの見守り(巡回等)	
4. 子どもの学習支援	

 **問12-12へ
お進みください**

IV 参考資料

【問 12 で「3. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-8 あなたは今後の避難期間中の住居をどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 今の住居で当面、継続して暮らしたい ⇒問 12-9 へ
2. 現在居住している**市町村内の別の住居**へ引っ越したい ⇒問 12-11 へ
3. 現在居住している**市町村以外**へ引っ越したい ⇒問 12-10 へ
4. 現時点ではわからない、判断できない ⇒問 12-12 へ

【問 12-8 で「1. 今の住居で当面、継続して暮らしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-9 今の住居で継続して暮らしたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------------------------|
| 1. 今の地域コミュニティになじんでいるから | 7. 子どもを転校させたくないから |
| 2. 立地が気に入っているから | 8. 自分又は家族の持ち家だから |
| 3. 間取り等今の住宅が気に入っているから | 9. 今の住宅の家賃が無償だから
(家賃が賠償対象になっているから) |
| 4. 現在の職場が近くて便利だから | 10. 引っ越しを繰り返すのがいやだから |
| 5. 買い物等の日常生活に便利だから | 11. その他 [具体的に |
| 6. 防犯上安心だから |] |

→ 問 12-12 へお進みください

【問 12-8 で「3. 現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-10 避難期間中に、転居を希望される自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. 相馬市
2. 南相馬市
3. いわき市
4. 新地町
5. 広野町
6. 楡葉町
7. 川内村

【 会 津 】

22. 喜多方市
23. 会津若松市
24. 猪苗代町

25. 福島県内のその他の市町村(具体的にご記入ください。)

→ (市・町・村)

【 中 通 り 】

8. 福島市
9. 伊達市
10. 二本松市
11. 本宮市
12. 郡山市
13. 田村市
14. 須賀川市
15. 白河市
16. 桑折町
17. 川俣町
18. 三春町
19. 小野町
20. 西郷村
21. 大玉村

26. 福島県外(具体的にご記入ください。)

→ (都・道・府・県) (市・町・村・区)

【問 12-8 で「2. 現在居住している市町村内の別の住居へ引っ越したい」

「3. 現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-11 避難期間中の現在の居住地から他への避難先への移動を希望する場合、希望する住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 6. 給与住宅(社宅など) |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 8. 親戚・知人宅 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 9. その他〔具体的に |
| 5. 公営住宅(居住制限者向けの復興公営住宅を除く) | 〕 |

【すべての方にうかがいます。】

問 12-12 避難期間中の住宅や居住環境についてご意見があればお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 12-13 避難期間中の生活において困っていること、改善を求めることがあればお書きください。
(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)

次に、将来に関するご意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 13 今後の職業についてどのように考えていますか。(○は1つ)

震災時に自営業・会社経営者以外の方は 下記にご回答ください。	震災時に自営業・会社経営者の方は 下記にご回答ください。
1. 震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい 2. 震災発生後に転職又は就職し、今後も現在の職場で働き続けたい 3. 今後、震災発生当時に勤めていた <u>職場付近</u> で職場が用意されるなら、そこで働きたい 4. 今後、震災発生当時に勤めていた <u>職場付近以外</u> の職場で働きたい → 希望地があれば、具体的にご記入ください <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) 5. 今後、働く予定はない 6. その他 (具体的に)	1. 現在仕事をしており、今後も続けたい 2. 現在は休業しているが、震災発生当時の仕事の再開が <u>元の場所</u> で見通しが立っている 3. 現在は休業しているが、震災発生当時の仕事の再開が <u>元の場所以外</u> で見通しが立っている → 具体的にご記入ください <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) 4. 現在は休業しており、震災発生当時の仕事の再開の見通しは立っていないが、 <u>元の場所</u> で再開させたい 5. 現在は休業しており、震災発生当時の仕事の再開の見通しは立っていないが、 <u>元の場所以外</u> で再開させたい → 具体的にご記入ください <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) 6. 今後、仕事をする予定はない 7. その他 (具体的に)

【問 13 で「3. 今後、震災発生当時に勤めていた職場付近で職場が用意されるなら、そこで働きたい」「4. 今後、震災発生当時に勤めていた職場付近以外の職場で働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 職場を選ぶ際に、重要視することは何ですか。(○は3つまで)

1. 職場までの通勤時間	6. 雇用形態
2. 勤務地(通勤時間を除く)	7. 社会保険の有無
3. 職種・業種	8. 勤務時間
4. 給料	9. その他 (具体的に)
5. 職場の規模	

すべての方にうかがいます。】

問 14 将来、浪江町の避難指示が解除された後の浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(現在一緒にお住まいの家族の一部だけでも戻りたいと考えている場合は「1」を選んでください)(〇は1つ)

1. 戻りたいと考えている ⇒問 14-3 へ	2. まだ判断がつかない ⇒問 14-1 へ	3. 戻らないと決めている ⇒問 14-7 へ
----------------------------	---------------------------	----------------------------

【問 14 で「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 浪江町へ戻ることを判断する上で必要と思う情報等について、あてはまるものをすべて教えてください。(〇はいくつでも)

1. 避難解除となる時期に関する情報
2. 放射線量の低下の見込み、除染成果の状況
3. 中間貯蔵施設の情報
4. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
5. 道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の見込み
6. どの程度の住民が戻るか
7. 放射線の人体への影響に関する情報
8. 働く場の確保の見込み
9. 受領する賠償額の確定
10. その他(具体的に)
11. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない ⇒問 15 へ

【問 14-1 で「1」から「10」と回答した方にうかがいます。】

問 14-2 上記(問 14-1)で選んだ情報等のうち、重視したいものを3つまで選んで、選択肢番号の欄にご記入下さい。

そして、その情報等について、どのような条件であれば戻りたいと考えますか。具体的な条件の内容をお書きください。

選択肢番号	具 体 的 な 内 容
(例) 2	元の人口の半分でも戻ってくるのであれば

▶ 問 15 へお進みください

【問 14 で「1. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-3 戻る予定の家族の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳(中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【問 14 で「1. 戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-4 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 元の持ち家(自宅)(建替える場合を含む) | 7. 給与住宅(社宅など) |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい | 8. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい | 9. 親戚・知人宅 |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) | 10. その他 [具体的に] |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) | |
| 6. 公営住宅 | 11. 現時点では判断できない |

- 「1.元の持ち家(自宅)(建替える場合を含む)」を選んだ方 ⇒ 問 14-5 へお進みください
- 「2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」から
「10.その他」を選んだ方 ⇒ 問 14-6 へお進みください
- 「11.現時点では判断できない」を選んだ方 ⇒ 16 ページ 問 15 へお進みください

【問 14-4 で「1. 元の持ち家(自宅)(建替える場合を含む)」と回答した方にうかがいます。】

問 14-5 元の持ち家に戻る場合、ご自宅に対してどのような修繕などが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| 1. 震災で壊れた部分の修繕 | 7. 解体し建替え |
| 2. 住宅外壁の修繕 | 8. その他 [具体的に] |
| 3. 屋根などの修繕 | |
| 4. 住宅内部のリフォーム | 9. 修繕の必要はない |
| 5. 家財などの買換え | 10. 帰還時期がわからないためどの程度の修繕が必要かわからない |
| 6. 住宅の清掃・消毒 | |

⇒ 問 15 へお進みください

【問 14-4 で「2」から「10」と回答した方にうかがいます。】

問 14-6 元の持ち家以外を希望される理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 元の持ち家(自宅)周辺の放射線量の高さが心配だから | 5. 元の持ち家(自宅)が荒廃しているから |
| 2. 元の持ち家(自宅)周辺に住む人が少ないと思うから | 6. もともと持ち家でないから |
| 3. 浪江町内の新たな場所で生活を開始したいから | 7. その他 [具体的に] |
| 4. 今後、津波の被害を受けることが心配だから | |

⇒ 問 15 へお進みください

【問 14 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-7 戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 【帰還の前提に関わるもの】 | 【今後の生活に関わるもの】 |
| 1. 放射線量が低下せず不安だから | 14. 高齢者・要介護者だけの世帯なので生活が不安だから |
| 2. 原子力発電所の安全性に不安があるから | 15. 他の住民も戻りそうにないから |
| 3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから | 16. 今後の津波被害を受ける可能性があるから |
| 【町内の復旧状況に関わるもの】 | 17. 帰還までに時間がかかるから |
| 4. 浪江町に戻っても仕事になさそうだから | 18. 避難先で仕事を見つけているから |
| 5. 浪江町での事業の再開が難しいから | 19. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから |
| 6. 営農などができそうにないから | 20. 避難先の方が生活利便性が高いから |
| 7. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから | 21. その他 [具体的に] |
| 8. 浪江町外への移動交通が不便だから | |
| 9. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから | |
| 10. 医療環境に不安があるから | |
| 11. 介護・福祉サービスに不安があるから | |
| 12. 教育環境に不安があるから | |
| 13. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから | |

【問 14 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-8 帰還しない場合に、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。

(1) 現在のお住まいの自治体にそのまま居住されるご予定ですか。(○は1つ)

1. 現在住んでいる自治体に住むつもり	} ⇒問 14-10 へ
2. 現状ではどうするか決まってない	
3. 別の自治体に転居したい	

【問 14-8(1) で「3. 別の自治体に転居したい」と回答した方にうかがいます。】

(2) 転居を希望される自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】 1. 相馬市 2. 南相馬市 3. いわき市 4. 新地町 5. 広野町 6. 楡葉町 7. 川内村	【 中 通 り 】 8. 福島市 9. 伊達市 10. 二本松市 11. 本宮市 12. 郡山市 13. 田村市 14. 須賀川市 15. 白河市 16. 桑折町 17. 川俣町 18. 三春町 19. 小野町 20. 西郷村 21. 大玉村	【 会 津 】 22. 喜多方市 23. 会津若松市 24. 猪苗代町 【 その他 】 25. 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。) → <input type="text"/> (市・町・村) 26. 福島県外 (具体的にご記入ください。) → <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
--	--	---

【問 14-8(1) で「3. 別の自治体に転居したい」と回答した方にうかがいます。】

問 14-9 転居する場合に、希望する住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)	6. 給与住宅(社宅など)
2. 持ち家(集合住宅)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家
3. 民間賃貸住宅(一戸建)	8. 親戚・知人宅
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)	9. その他(具体的に)
5. 公営住宅	10. 現時点では判断できない

【問 14 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-10 震災時に居住されていた浪江町に戻らない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 住宅の確保の支援)
2. 継続的な健康管理の支援	
3. 雇用確保の支援	
4. 仮設住宅・借り上げ住宅の継続的利用	
5. 役場からの広報誌による継続的な情報提供	
6. 役場からのフォトビジョンによる継続的な情報提供	
7. 一時帰宅支援	
8. その他(具体的に	

IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

問 15 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返送封筒にご記入済み調査票を入れて、
8月23日（金）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**浪江町 住民意向調査
報告書**

**平成26年3月
復興庁**

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター